



平和集会(6/8) ～平和ガイド「崎原律子さん」を招いて～

今から 74 年前、一般住民を巻き込み、多くの尊い生命、財産及び文化遺産を失った沖縄戦について歴史的な事実を知らせることにより、6 月 23 日の「慰霊の日」の意義を深く理解させ、命の尊さと平和を願う心を育てることをねらいとし、6 月 4 日～21 日を「平和旬間」としています。その取組の一つとして、平和集会が 6 月 8 日 (金) に行われました。

前半は 5 年生による「音楽朝会」での発表でしたが、例年の「月桃の花」の歌披露だけでなく、空襲警報時の再現劇や群読、リコーダー演奏等がありました。その中でも、「今、私たちにできること 友だちと仲よくすること 物を大切にすること 好き嫌いをしないこと 友だちを大切にすること 家族を大切にすること 人を大切にすること 自分を大切にすること 生きていることに感謝すること 今を精一杯いきること そして 命の大切さ 平和の大切さを多くの人に伝えていくこと」という群読は、

大変心打たれました。後半は、平和ガイドとして活躍している崎原律子さんから、「黄金 (くがに) の言葉」を教わりました。「イチャリバチョデー (会う人は皆お友達)」「命どう宝 (命こそいちばんの宝)」「くとうば一ゆん (言葉は生きている。言葉には魂がある)」「誠ソーケーなんくるないさ (頑張ったら、正直に生きていたら、道は開ける)」など、沖縄には先人から受け継いだ素敵な言葉があるとお話をして下さり、戦争を生き抜いてきたお年寄りを大切にすることも教えて下さいました。その後、お婆さんに扮した崎原さんが「対馬丸」の一人芝居を演じ、その中で遺族の方からのメッセージが語られ、「大人になるまで生きたかった…。もっと生きたかったのになぜ、許してもらえなかったのか…。」「戦争」とは関係のない子ども達がなぜ死んでいったのか…。と語る姿に、子ども達は引き込まれていきました。

ぜひ、慰霊の日を前にご家族でも、「平和」についてお話いただけたらと思います。



5 年生合唱「月桃の花」



崎原律子さん「対馬丸」

下校時の不審者対応訓練 (6/12)

先月の川崎の痛ましい事件を受け、那覇署より下校時の不審者対応及び児童の避難訓練の合同実施を提案されました。

児童の安全・安心を確保することを目的に、教職員の対処、児童の危機回避方法等を実践しました。神谷警部補から「いかのおすし」で身を守ることの大切さの話がありました。後日、具体的な避難の仕方を児童に指導していきます。



不審者対応の新城教頭



神谷警部補のお話

那覇署より感謝状

「城岳通信 第 8 号」で紹介した、上地純人さん、上地海凜さんの二人が、人命救助を行ったとのことで、崎原永克那覇警察署長より感謝状を頂きました。嬉しいです。



崎原署長と純人さん、海凜さん